すてきなじかん ふしぎなじかん

じかんのおはなし

『あさですよ よるですよ』

かこ さとし／さく　福音館書店　E カ

「あさですよー おきなさーい」いちにちが はじまるよ。 あそびや おひるね、ごはんに おしゃべり。たのしい じかんを すごしたら「さあ よるですよー ねるじかん おやすみなさい さようなら」あしたも げんきに すごそうね。

『とけいのあおくん』

エリザベス ロバーツ／さく　灰島 かり／やく

殿内 真帆／え　福音館書店　E ロ

ながいこと ベルのおとを ならしていない とけいの あおくん。つまみはずっと「とめる」のまま。ようやくおとを ならすときが やってきます。つまみを「なる」に あわせたけれど おとをだせるか しんぱいでたまりません。 さて あおくんは やくそくのじかんに おとをだせるかな。

『うらしまたろう』　おおかわ えっせい／ぶん

むらかみ こういち／え　ポプラ社　E オ　え

はまべで かめをたすけた うらしまたろうは そのおれいに りゅうぐうじょうへと しょうたいされます。あまりのたのしさに 月日がたつのを わすれてしまいます。三ねんぶりに はまべにもどると そこにはもう みなれたけしきは ありませんでした。

『りんご だんだん』　E オ　え

小川 忠博／写真と文　あすなろ書房

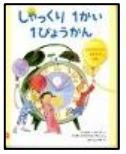
つるつるおいしそうな まっかなりんご。じーっと そのままおいておくと りんごは だんだん だんだん だいへんしん。89日、151日、325日と じかんがすぎると あらあら とうとう りんごは まったく ちがうすがたに なってしまいました。

『しゃっくり １かい １びょうかん』

ヘイゼル ハッチンス／さく　福音館書店　E3 ハ

ケイディ マクドナルド デントン／え

はいじま かり／やく　え



じかんは とまらず、ずんずんずんずん すすむ。１びょうかん、１ぷんかん、１じかん、１にち、１しゅうかん、１つき、そして１ねん。ずんずん ずんずん じかんはすぎる。１びょうかんで なにができるのだろう。１ねんすぎたら どんなきもちに なるのだろう。

『みりとミミの ひみつのじかん』

立原 えりか／作　佐野 洋子／画

あかね書房　913 タ　よ

「だれかに すきになってもらった ぬいぐるみは 一年に一どだけ ひみつのじかんを むかえることが できるの。」おるすばんをしていた みりと うさぎのぬいぐるみ ミミとの ひみつのじかんが はじまりました。日よう日の ごごに おきた ふしぎなじかんの おはなしです。

『二分間の冒険』　岡田 淳／著　よ

偕成社　913 オ

体育館での 退屈で単調な作業から抜け出した６年生の悟は 一匹の黒ネコに出会います。願いを一つ かなえてくれるという黒ネコに 悟が望んだことは「時間をおくれ」でした。すると悟は 真っ暗な深い森へと誘い込まれ、たった二分間の、でも長く奇妙な冒険を はじめることとなったのでした。

『はじまりは たき火　火と くらしてきた わたしたち』　まつむら ゆりこ／作　ち

小林 マキ／絵　福音館書店　383 マ

人間は 長い時間の中で 火の力を もとに 多くの知恵を うみだしてきました。そして豊かなくらしを つくりあげてきたのです。しかし 同時に 様々な問題も 起きてしまいました。たき火から始まる 知恵の歴史と くらしの未来を 考えてみましょう。